

高市早苗総理を
内閣府政務官として支える
自民党公認・金子容三。

豊かな未来を、ともに創る

写真欄

自民党

金子容三（43歳）

ようぞう

氏名欄（党派・年齢等）

ふるさと東北地域・五島列島のため、長崎県のため、日本国のために粉骨砕身働く覚悟で、このたびの第51回衆議院議員総選挙に立候補いたしました。

私の判断軸は、常に一つです。

「それは国益にかなうのか。そして、

地元・長崎県北・五島の幸せにつながるのか」。

地元の課題解決に必要な予算をしっかりと確保することはもちろん、地域の仲間とともに学び、成長し、挑戦できる環境をつくれるか。

それこそが、私が目指す政治家としての姿です。

机上の空論ではなく、現場で汗を流しておられる皆さまの声を丁寧聞き、誠実にまとめ、政策として形にしていける。その姿勢を何よりも大切にしてきました。

人口減少・少子高齢化をはじめとした課題の解決には、

何よりもまず「強い経済」をつくる必要があります。

強い経済があつてこそ、防災・減災、子育て支援、医療・介護・福祉を充実させ、

どの世代の方も、安心して豊かな人生を歩んでいける社会が実現されます。

豊かな未来を、ともに創る公約を

ご覧いただきますよう

よろしくお願いいたします。



持続可能な 社会保障の確立

誰もが年齢や立場に関係なく、
安心して暮らせる制度を支えます。

安全保障の強化も 踏まえた、 さらなる離島振興

離島に安心して住み続けられる
環境を守り、持続可能な地域の
未来を築きます。

食料安全保障の 確保に資する 農林水産業振興

農林水産業を「守る産業」から
「稼げる産業」へ進化させます。

安心・安全を 確保する安全保障 と防災・減災への 取り組み強化

命と暮らしを守るため、平時から備える
現実的な安全対策を進めます。

地域の特徴・ 特性を活かした 産業振興・ 地域経済活性化

地域の強みを活かし、安定した雇用と
“稼ぐ力”を地域につくります。

未来を担う子ども 子育て支援、 教育投資の強化

子育てと教育への投資で、
次の世代が安心して挑戦できる
社会をつくります。

プロフィール

1983年（昭和58）、長崎県出身。佐世保市立木風小学校、青雲中学校、青雲高等学校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、S M B C日興証券（株）入社。ウィリアム&メアリー大学（米国）修了、経営学修士（MBA）。2023年（令和5）衆議院旧長崎4区補選にて初当選。2024年（令和6）衆議院総選挙で長崎3区にて再選。
第2次石破内閣で防衛大臣政務官。高市内閣において内閣府大臣政務官（現職）。
▼2児の父。特技は空手道（二段）。趣味はピックルボール。座右の銘は「志在千里」。

比例代表も自民党へ

